

平成30年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月14日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
 コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 岡崎 栄一 TEL 06-6765-0670
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	1,102	△11.0	42	△24.8	43	△19.9	38	△26.0
29年2月期第1四半期	1,238	9.1	57	—	54	—	52	—

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 50百万円 (—%) 29年2月期第1四半期 69百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	4.62	—
29年2月期第1四半期	6.24	6.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第1四半期	2,368	1,778	75.1	212.82
29年2月期	2,143	1,752	81.8	209.73

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 1,778百万円 29年2月期 1,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	2.50	—	3.00	5.50
30年2月期	—	—	—	—	—
30年2月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	4.7	80	△30.1	80	△32.7	200	△37.3	23.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期1Q	8,490,103株	29年2月期	8,490,103株
② 期末自己株式数	30年2月期1Q	134,638株	29年2月期	134,638株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期1Q	8,355,465株	29年2月期1Q	8,349,160株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資が改善し緩やかな回復基調にはあるものの、個人消費は力強さに欠け、また米国の政策運営や欧州の政治情勢等の影響による世界経済の不確実性の高まりなど、先行き不透明な状況が続いています。

このような中、当社グループは各事業部門の諸施策を遂行し、業績向上に邁進いたしました。企業間の競争がより一層激しくなるなど厳しい経営環境が続きました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,102百万円（前年同期比11.0%減）、営業利益は42百万円（前年同期比24.8%減）、経常利益は43百万円（前年同期比19.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は38百万円（前年同期比26.0%減）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業におきましては、「アミューズメント専用お菓子」、「ドラえもん」、今年25周年を迎えた「星のカービィ」が好調に推移し、加えてゲームソフト系のキャラクターなど新規版権の獲得とその商品化を行いました。前期主力キャラクターの落ち込みをカバーするまでに至らず、売上高681百万円（前年同期比17.9%減）、営業利益36百万円（前年同期比53.3%減）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業におきましては、前期より好調のオリジナルシリーズ「もちもちマスコット」の販売が好調に推移しアニメキャラクター専門店への販売が大幅に伸長しました。また「ポケットモンスター」「星のカービィ」等も引き続き好調に推移し、前期好調であった「おそ松さん」や一部定番キャラクターの落ち込みを補うことが出来ました。また自社オリジナルキャラクターの「忠犬もちしば」の販売も比較的堅調に推移し、前期より品揃えの拡充を図っている「バスボール」（フィギュア入り入浴剤）の販売好調も併せオリジナル商品販売比率の向上に寄与し、売上総利益率が改善しました。これらの結果、売上高420百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益6百万円（前年同期は21百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ224百万円増加し、2,368百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加額182百万円、商品の増加額57百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ198百万円増加し、589百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少額17百万円により一部相殺されたものの、買掛金の増加額145百万円、流動負債のその他の増加額66百万円によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加し、1,778百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額13百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,144,229	1,165,865
受取手形及び売掛金	412,855	594,864
電子記録債権	89,360	45,170
商品	151,822	209,520
その他	71,171	69,108
貸倒引当金	△2,415	△3,023
流動資産合計	1,867,023	2,081,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,089	56,089
減価償却累計額	△47,350	△48,149
建物及び構築物（純額）	8,738	7,939
車両運搬具	3,450	3,450
減価償却累計額	△2,964	△3,016
車両運搬具（純額）	486	434
その他	149,005	152,907
減価償却累計額	△134,587	△137,348
その他（純額）	14,418	15,558
土地	96,798	96,798
有形固定資産合計	120,441	120,729
無形固定資産		
投資その他の資産	40,999	35,215
投資有価証券	56,879	69,990
退職給付に係る資産	41,178	44,012
その他	34,754	34,468
貸倒引当金	△17,793	△17,880
投資その他の資産合計	115,019	130,589
固定資産合計	276,460	286,534
資産合計	2,143,483	2,368,040

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,873	331,261
未払法人税等	23,943	6,044
繰延税金負債	126	250
賞与引当金	21,150	24,620
役員賞与引当金	5,000	—
その他	85,638	152,310
流動負債合計	321,732	514,486
固定負債		
繰延税金負債	19,550	24,278
役員退職慰労引当金	45,916	—
その他	3,867	51,059
固定負債合計	69,333	75,338
負債合計	391,066	589,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	492,935	492,935
利益剰余金	831,787	845,306
自己株式	△51,405	△51,405
株主資本合計	1,735,314	1,748,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,630	33,398
繰延ヘッジ損益	△4,545	△1,237
為替換算調整勘定	△2,982	△2,778
その他の包括利益累計額合計	17,102	29,381
純資産合計	1,752,417	1,778,216
負債純資産合計	2,143,483	2,368,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	1,238,669	1,102,767
売上原価	884,293	780,075
売上総利益	354,375	322,691
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	87,014	83,376
賞与引当金繰入額	11,374	3,470
退職給付費用	4,250	1,176
役員退職慰労引当金繰入額	1,705	1,517
荷造運搬費	63,291	60,404
貸倒引当金繰入額	△1,148	694
その他	130,784	129,124
販売費及び一般管理費合計	297,271	279,765
営業利益	57,104	42,926
営業外収益		
受取利息	7	—
受取配当金	91	103
賃貸収入	162	1,006
その他	359	174
営業外収益合計	620	1,283
営業外費用		
支払利息	889	—
為替差損	2,252	480
その他	13	—
営業外費用合計	3,155	480
経常利益	54,569	43,728
特別利益		
新株予約権戻入益	175	—
特別利益合計	175	—
税金等調整前四半期純利益	54,744	43,728
法人税、住民税及び事業税	3,942	4,276
法人税等調整額	△1,318	866
法人税等合計	2,624	5,143
四半期純利益	52,120	38,585
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,120	38,585

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	52,120	38,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,655	8,767
繰延ヘッジ損益	13,004	3,307
為替換算調整勘定	304	203
その他の包括利益合計	16,964	12,278
四半期包括利益	69,085	50,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,085	50,864
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法
によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	830,559	408,110	1,238,669	—	1,238,669
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,713	5,972	11,685	(11,685)	—
計	836,273	414,082	1,250,355	(11,685)	1,238,669
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	77,758	△21,036	56,721	382	57,104

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額382千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	681,979	420,787	1,102,767	—	1,102,767
セグメント間の 内部売上高又は振替高	468	1,004	1,473	(1,473)	—
計	682,448	421,792	1,104,240	(1,473)	1,102,767
セグメント利益	36,346	6,580	42,926	—	42,926

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。